

材料加工理論／実習I

必 修

開講年次：1年次前期

科目区分：実 習

单 位：2 单位

講義時間：60 時間

■科目のねらい：木材、金属、プラスチックによる造形基礎理論と実習を実施する。木工、金工、プラスチック加工の機器操作安全講習と、目的にあった材料特性を理解して加工方法を習得するとともに、材料に適する造形技術、および、3次元の表現力、造形力を養うことを目的とする。

- 到達目標：**①材料の特性と加工方法を知る。
②材料特性に基づいた造形ができる。
③思い描いた造形を立体に加工できる。

■担当教員：【◎は科目責任者】

◎上遠野 敏・細谷 多聞・川上りえ

■授業計画・内容：

- 第1回 木材加工(木工室機械講習、テーマ説明)
第2回 木材加工(材料加工理論、木取り、ケガキ)
第3回 木材加工(木材加工)
第4回 木材加工(結合、接着、組立)
第5回 木材加工(造形)
第6回 金属加工(金工室機械講習、テーマ説明)
第7回 金属加工(材料加工理論、木取り、ケガキ、切断)
第8回 金属加工(金属加工)
第9回 金属加工(溶断、溶接)
第10回 金属加工(組立、仕上げ)
第11回 プラスチック加工(樹脂塗装室機械講習、テーマ説明)
第12回 プラスチック加工(材料加工理論)
第13回 プラスチック加工(画像処理)
第14回 プラスチック加工(レーザー加工)
第15回 プラスチック加工(接着、組立)
- * 工房の収容人員を鑑み、火曜クラス(1~2コマ目)2グループ(各23名)、火曜クラス(4~5コマ目)2グループ(各23名)の授業構成で、木工(5週)、金工(5週)、プラスチック(5週)をローテーションで入れ替えます。

■教科書：適宜資料を配布する。

■参考文献：なし

■成績評価基準と方法：定期試験(中間および学期末)50%、授業内課題30%、授業態度・発表20%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート				理解、習得技術に関するレポート	
授業態度	○	○	○	積極的な姿勢。	20
発表					
課題・作品		○	○		70
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

○：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■関連科目：表現基礎(描画)・(製図)・(構成)、材料加工理論／実習II

■その他(学生へのメッセージ・履修上の留意点)：授業開始時に、一括購入する材料費(木材、金属、プラスチック材等)2,700円が必要となります。

各工房の安全講習と作品制作を行います。作業に適した服装を用意してください。